



令和元年度

一般会計単年度純決算額は 9億7千万円で7年連続黒字

市の令和元年度一般会計決算は、歳入318億4千万円で前年度対比16億4千万円（5.4%）の増、歳出293億円で前年度対比12億2千万円（4.3%）の増となり、差引額25億4千万円の黒字となりました。

そして、実質単年度決算額（前年度からの繰越および財政調整基金への積立て・取崩しを除外した決算収支）は、9億4千万円の黒字でした。さらに、市債の増減を加味した単年度「純」決算は9億7千万円で7年連続の黒字となりました（平成25年度2億円、26年度12億4千万円、27年度7億円、28年度2億8千万円、29年度2億2千万円、30年度6億円）。借入金も93億9千万円で、対前年度末で2千万円増となりました。

また、平成21年度決算時に比較すれば8億8千万円減っています。使用目的を限定していない貯金である財政調整基金の令和元年度末の

残高は、52億円1千万円です。なお、使用目的を限定している各種基金も含めた、いわゆる市の貯金総額は78億9千万円となります。

令和元年度に行った特徴ある主な事業とその決算金額は次のとおりです。（都）碧南駅前線整備事業8千600万円、市宮宮下住宅建替事業6千800万円、碧南スケートボードパーク整備事業6千500万円、県営碧南用水改修事業5千600万円、碧南緑地スポーツ施設整備事業3千900万円、筋力ルーム60運営事業2千500万円、少人数指導授業推進事業2千400万円。

今後とも、将来の発展に資する投資を常に行いつつ、世界に誇る碧南市を目指して、職員一同、市民満足度と費用対効果の最大化にまい進して行きますので、市民の皆さまのますますのご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。



△碧南スケートボードパーク

令和元年度 衣浦衛生組合 一般会計歳入歳出 決算報告

問 衣浦衛生組合 ☎(41)3479

衣浦衛生組合は、碧南市と高浜市で構成されている一部事務組合です。当組合の事業と決算状況の概要をお知らせします。

組合の主な事業

- し尿の処理（衛生センター）
各家庭から収集された生し尿、浄化槽汚泥の処理
- ごみの処理（クリーンセンター衣浦）
各家庭から収集された、可燃ごみ・粗大ごみの処理および一般廃棄物の処理
- ごみの再生処理（リサイクルプラザ）
再利用できると判断された粗大ごみや家庭にある不用品でまだ使える物の展示・販売
- 温水プールと浴場の運営（サン・ビレッジ衣浦）
クリーンセンターのごみ焼却余熱を利用した温水プール、風呂施設の運営
- 火葬場の運営（衣浦斎園）

